

## 「洪水情報の緊急速報メール」を活用した避難訓練及び市民地域防災訓練

美馬市

■「吉野川の洪水に備えて」学習会



■炊き出し訓練



■ロープワーク訓練



■大雨体験訓練



■降雨・土石流体験訓練



■応急担架を用いた搬送訓練



美馬市では、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進するため、防災・減災対策に積極的に取り組んでおります。今後も地域住民とともに平時から訓練に取り組み、水防活動の効率化及び水防体制の強化に努めてまいります。

## 「三好市防災ハザードマップ」の作成

三好市

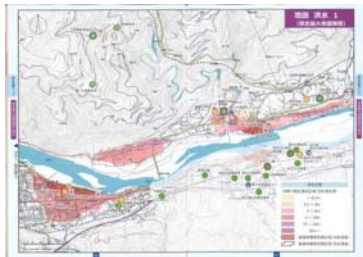
■三好市防災ハザードマップ【総合版】



■啓発に関するページ



■洪水災害マップのページ【ダム下流】



■洪水災害マップのページ【ダム管理区域】



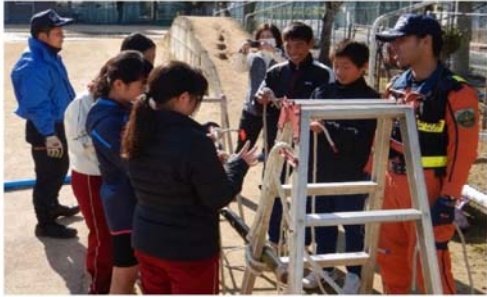
- ・総合版のハザードマップを旧6町村単位に冊子型で作成し全戸配布をした。
- ・災害が起こる仕組みの解説や各種防災情報の入手方法、災害に対する備えなどの啓発に関する事項も掲載した。
- ・池田ダム下流地域には「吉野川想定浸水区域の最大規模と計画規模」のそれぞれ洪水浸水深を表示するとともに、最大規模マップには家屋倒壊等危険区域も表示し、計画規模マップには過去の洪水で最も被害の大きかった平成16年台風23号の浸水実績も表示した。
- ・池田ダム上流域には、池田ダム管理区域内における「想定最大規模浸水区域と計画基準年浸水区域」を表示し、洪水により浸水する恐れのある箇所についても表示した。

## 水防訓練の実施(ロープワーク、土のう作り)

つるぎ町

■半田中学校・地域自主防災会合同防災訓練 (H30. 11. 25)

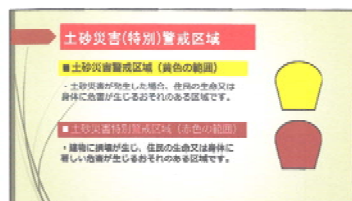
■貞光中学校・地域防災訓練 (H30. 10. 21)



つるぎ町では水防訓練の充実を図るため、中学生と地域自主防災会等との合同訓練を実施しました。ロープワークや土のう作りを実際に体験し、次世代を担う生徒さんの育成と地域住民の方々や各種団体の皆様との交流等を図るため、昨年引き続き合同で訓練を実施しました。(協力:徳島河川国道事務所、美馬西部消防署)

## 防災士による防災学習の実施

東みよし町



### 防災学習に使用した資料

- 東みよし町では、三好中学校で町内防災士による防災学習が実施された。地域防災の現状や、防災クイズへの挑戦、紐の結び方など防災全般にわたっての防災学習であったが、防災マップも活用し、吉野川が氾濫したとき予想される浸水の深さや、過去の洪水記録がわかる写真等も活用しながら、洪水に対する危機意識の啓発を行っている。
- 来年度は、継続してさまざまな団体に防災マップを活用した防災学習に取り組んでいただくと共に、防災教育のモデル校で作成した指導計画の小学校との共有等に取り組む予定である。



## 平時の取組み

➤ 気象台長の市町村長との「顔の見える関係」を構築・深化

### 【平成30(2018)年度の取組み】

⇒出水期前に県内全市町村長との懇談を実施  
⇒大規模氾濫減災協議会などへも参画し、連携を強化

➤ 「地域防災計画」や「防災対応マニュアル」等への助言・見直しを支援

### 【平成30(2018)年度の取組み】

⇒4市町の「地域防災計画」へ助言・見直しを支援

➤ 防災気象情報の理解・活用のための研修・訓練・イベント等への協力

### 【平成30(2018)年度の取組み】

⇒徳島市、美馬市の職員研修へ講師を派遣  
⇒三好市職員図上訓練へ資料提供と職員を派遣  
⇒阿波市、三好市の防災イベントへ出展し要員を派遣



平成31年2月5日 三好市職員図上訓練の様子

## 緊急時の取組み

➤ 「ホットライン」や「予報官コメント」などにより、気象台が描く危機感を伝達

### 【平成30(2018)年度の取組み】

⇒気象災害のおそれがあるときは、現象の切迫度や危険度に応じて、「気象台長」、「管理官（課長級）」、「専門職員（予報官など）」が各レベルでホットラインを実施

➤ 災害対応支援のため「気象防災対応支援チーム（JETT）」を派遣 ※ J E T T (ジェット) = JMA Emergency Task Team

### 【平成30(2018)年度の取組み】

⇒気象庁では、平成30年に発生した8件の大規模災害に対してJETTとして職員を派遣

⇒当台では、平成30年7月豪雨、台風第20号、台風第21号で徳島県、岡山県（平成30年7月豪雨）へJETTとして職員を派遣

## 災害後の取組み

➤ 市町村と「振り返り」等を実施し、取組みを改善

### 【平成30(2018)年度の取組み】

⇒平成30年7月豪雨で、土砂災害警戒情報等を発表した14市町には「アンケート調査」をお願いし、避難勧告以上を発令した5市町と「振り返り」を実施

➤ 被災市町村に対して「災害時気象支援」を実施

### 【平成30(2018)年度の取組み】

⇒平成30年7月豪雨で発生した「三好市山城町白川付近」での地すべりへの支援として、「災害時気象支援資料の提供」、「雷雲発達に伴う電話解説」を実施

# 大規模災害時の情報提供について

## 国土地理院四国地方測量部

国土地理院は災害対策基本法に基づく指定行政機関（四国地方測量部は指定地方行政機関）です。大規模災害発生時には、関係機関に地理空間情報（空中写真など）を提供します。

### 【平成30年7月豪雨災害：愛媛県】



#### 空中写真撮影

- ・大洲地区：457枚
- ・宇和島地区：298枚
- ・肱川地区：30枚

計785枚



宇和島地区正射写真図・罹災証明や災害査定に使用



解像度垂直写真・正射画像  
地上解像度20cm

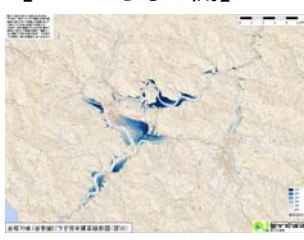
提供

四国地方整備局  
愛媛県  
大洲市  
西予市  
宇和島市  
八幡浜市  
内子町  
愛南町

外付HDD

DVD

### 【Webからも公開】

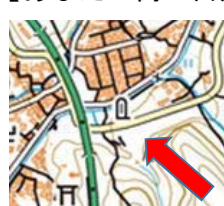


浸水推定段彩図



崩壊地等分布図

### 【あなたの街の自然災害伝承碑を地図に載せてみませんか？】



上：掲載した地図はイメージです。  
右：新しい地図図号



防災基本計画（平成30年6月中央防災会議）  
第2編第1章第3節国民の防災活動の促進

#### 4 災害教訓の伝承

国及び地方公共団体は、（略）災害に関する石碑やモニュメント等の持つ意味を正しく後世に伝えて行くように努めるものとする。

## 「避難訓練の手引き」の作成および公表

徳島県

### ➤ 避難訓練の支援

平成29年度末に避難確保計画作成済みの要配慮者利用施設である吉野川市内の「ケアハウス 健祥会プロバンス」をモデル施設として選定し、避難訓練の実施を支援した。これにより、避難確保計画の見直しを図り、実効性の確保を支援する。

### ➤ 避難訓練の手引き

避難訓練の支援で得られた成果に、学識経験者の知見を加え、「避難訓練の手引き」を作成し公表。

県下の施設に普及することにより、避難訓練の実施を支援するとともに、引き続き、関係機関と連携し、「避難確保計画の作成」の取組が加速するよう、支援していく。



## 「徳島県内報道各社とダム管理者意見交換会」の開催概要

四国地方整備局

- 池田ダム放流に関する情報提供について徳島県内報道各社とダム管理者意見交換会を開催しました。
- 意見交換会では主催者側よりダムの役割を改めて説明すると共に、「野村ダム・鹿野川ダムの操作に関わる情報提供等に関する検証等の場」を受けての課題について説明を行いました。
- 報道関係者からは視聴者に向けて情報発信を行うにあたり、メディアの立場からどのような情報が必要となるかについて意見が述べられました。
- また、これまでダム管理者が行っていなかったSNSを用いた情報発信についても意見交換を行いました。

### 開催概要

■主催：四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所  
水資源機構 吉野川総合管理所

■日時：平成31年2月1日（金） 13:30～15:30

■場所：徳島河川国道事務所 2階大会議室

### ■議事内容

- 平成30年7月の西日本豪雨を受けての課題
- ダムの役割と効果について
- 池田ダム放流に関する通知及び警報について
- 池田ダム放流量に関する情報提供について

### ■出席者

徳島新聞社、読売新聞社、共同通信社、四国放送、NHK  
（毎日新聞社、朝日新聞社、時事通信社、池田ケーブルネットワーク、  
徳島県民放記者クラブ加盟3社は欠席）  
水資源機構：吉野川本部、池田総合管理所  
四国地方整備局：河川管理課、徳島河川国道事務所、吉野川ダム  
統合管理事務所



報道各社とダム管理者意見交換会の様子

# 危機管理型水位計の設置および運用

四国地方整備局

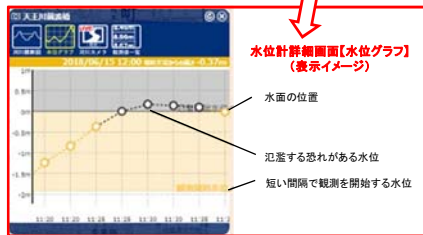
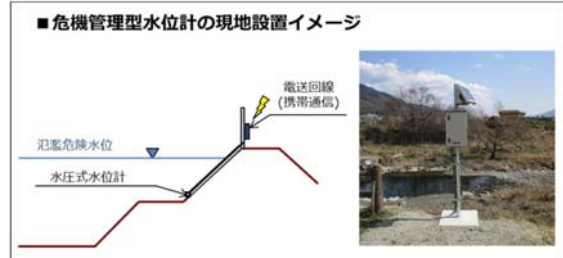
○吉野川・旧吉野川の危険箇所における水位把握などの防災情報の充実を図るため、洪水時のみの水位観測に特化した危機管理型水位計を設置し運用を開始。また、水位データは一般の方でも閲覧ができ、地域住民の主体的な避難に活用が可能。

## 【危機管理型水位計を用いた情報提供】

Webサイト「川の水位情報(危機管理型水位計)」



PC : <https://k.river.go.jp>



【吉野川上流 危機管理型水位計 位置図】